

製品安全データシート

改訂日：2008年1月20日

1. 製品及び会社情報

製品名	ジアセトンアルコール
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
担当部門	品質管理課
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業(株) 三国工場
整理番号	CB0023

2. 危険有害性の要約

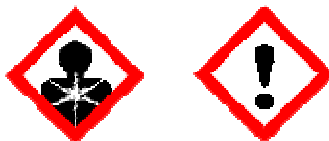
GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体： 区分4
急性毒性（経口）： 区分5
皮膚腐食性・刺激性： 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分2A
生殖毒性： 区分2
特定標的臓器・全身毒性： 区分1（呼吸器系）
（単回ばく露） 区分2（肝臓）
区分3（麻酔作用）
特定標的臓器・全身毒性： 区分1（腎臓）
（反復ばく露）

*記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
可燃性液体
飲み込むと有害のおそれ（経口）
皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器系の障害、肝臓の障害のおそれ、眠気又はめまい
のおそれ
長期又は反復ばく露による腎臓の障害

注意書き

【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
炎及び高温のものから遠ざけること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【救急処置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

化学名

別名

成分及び含有量

危険有害成分

化学式又は構造式

官報公示整理番号

CAS No.

単一製品

ジアセトンアルコール

4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

97.0%以上

ジアセトンアルコール

◇分子式… $C_6H_{12}O_2$

◇示性式… $(CH_3)_2C(OH)CH_2-CO-CH_3$

◇化審法…(2)-587

◇安衛法…公表

123-42-2

◇TSCA…有り

◇EINECS…2046267

4. 応急措置

皮膚に付着した場合

吸入した場合

1. 眼に入った場合は、水で10～15分間水で洗浄する。

2. そのため、まぶたを親指と人さし指で上げ、同時に眼をあらゆる方向に動かす。

3. 医師を災害現場に呼ぶ。

1. この液体でぬれた衣服部分、靴および靴下をただちに脱がせ、遠ざける。

2. この物質と接触した身体部位を継続的に水で洗浄する。

1. 傷病者を新鮮な空気の所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分をゆるめてやる。

2. 呼吸停止の場合、ただちに呼気吹き込みまたは器具による人工呼吸、場合によって酸素吸入。

3. 傷病者の身体を冷やさないようにする。

4. 意識喪失の危険がある場合、待機や搬送は安定な側臥位で行う。

5. 火災時の措置

消火方法

消火要領

消防活動装備

消火剤

1. 小規模火災では、水、ドライケミカルまたは二酸化炭素。

2. 大規模火災では、耐アルコール泡。

3. 容器を水噴霧で冷却する。

1. 防護衣。

2. 空気呼吸器。

3. 循環式酸素呼吸器。

4. ゴム長靴。

5. 防火服。

1. 水、ドライケミカル、二酸化炭素、耐アルコール泡。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

飛散を防ぐ処置をする。風上から作業を行い、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

除去方法

濃厚な廃液などが直接河川に流出しないように注意する。

1. 漏洩：危険を伴わない場合は、漏洩部をふさぐ。
2. 流水：飲料水、用水および冷却水の取水者に了解を求める。
3. 停留水：周囲を遮断する。すべての発火源を取り除く。危険地域の乗物を移動させる。
4. 陸上：防止堤で囲み、ポンプで汲みとる。住宅地域および工業地域のすべての低い場所にある空間をふさぐ。すべての発火源を取り除く。残存物を不燃性および吸収力のある材料、たとえば乾燥した土、砂、粉碎した石灰石またはひる石で覆い、密閉容器に入れ、廃棄のため安全な集積場所に運ぶ。

7. 取扱い及び保管上の注意

注意事項

安全取扱い注意事項

安全な容器包装材料 取扱い

眼を刺激する。

子供の手の届かない場所に保管する。皮膚および眼との接触を避ける。

ガラス。

1. 刺激性。
2. 可燃性液体。熱源、裸火との接触禁止。
3. 蒸気の吸入を避ける。
4. 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
5. 蒸気は遠距離引火の可能性がある。
6. 防爆工具の使用。

保管

1. 密封。冷乾燥場所に保管。
2. 空気と爆発性の混合気体をつくる。
3. 火災下容器爆発することがある。

8. 暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項

1. 強い加熱または火災の際には危険地域内では、機械を停止し、発火物を除去し、喫煙を禁止し、裸火を消し、火花を発生する電気器具類および開閉器を作動させない。

2. 周辺空気と無関係の（重装備の）呼吸防護器具および全身防護服を着用する。

3. 防災活動に無関係のすべての人々を風上側に遠ざける。

4. 下水溝または船の排水管に入った流出物は加熱されると、爆発危険が生じることに注意する。専門家を呼ぶ。

5. 水路では航行を遮断する。陸上では危険地域を遮断する。住宅地域および工業地域の居住者に警告する。

許容濃度

ACGIH (2003年)

TLV-TWA 50 ppm

238 mg/m³

OSHA PEL TWA 50 ppm

NIOSH REL TWA 240 mg/m³

MSHA TWA 50 ppm

240 mg/m³

設備対策

安全管理・ガスの検知

貯蔵上の注意

保護具

1. 測定器

2. 検知管

1. 密封。冷乾燥場所に保管。

2. 空気と爆発性の混合気体をつくる。

3. 火災下容器爆発することがある。

1. 換気、呼吸用保護具。

2. 保護手袋。

3. 保護衣。

4. 安全シャワー。

5. 安全ゴーグル。

6. 洗眼器。

9. 物理的及び化学的性質 外観等

密度(比重または嵩比重)

溶解性

pH

爆発限界

沸点

融点

引火点

発火点

無色の液体。弱い、こちよい、甘ったるいにおい。酸によりメシチルオキシドとなる。アルカリで分解する。
水分(%wt) 0.20以下、蒸留範囲(°C)：初留点150.0以上；乾点172.0以下、蒸気圧(20°C) 0.8 mmHg、蒸発潜熱60 cal/g、膨張係数(20°C) 0.00097/°C、比熱(15°C) 0.500 cal/g、粘度(20°C) 2.9 cPs、色相(ハーゼン) 25以下、酸度(%wt) 0.01以下、蒸気密度比(空気=1)：4.0。

0.9387(20/4°C)；0.931(0.94工業用)

水溶性(20°C)：∞g/100g、水。アルコール、エーテルに可溶。

該当情報なし。

1.8～6.9 vol. %

168°C；72°C(2.66 kPa)

－44°C

74°C；8°C(工業用、密閉)；13°C(工業用、開放)；61°C(Aldrich)，58°C

640°C；600°C

10. 安定性及び反応性 危険有害な分解生成物 加熱・燃焼

水との接触

空気との接触

混触等

一酸化炭素

危険性有

1. 高温の表面、火花または裸火により発火。

危険性無

1. 水と完全に混合する。アセトンを含む製品容易に発火しやすい蒸気・空気混合気を水面上方に生じることがある。

危険性有

1. 可燃性液体、引火点は比較的高く58°C。強く加熱すると、爆発性混合気が生じる。

危険性有

1. この物質は多くの合成物質を腐食し、軟化させる。
2. この物質が酸素の豊富な物質(強酸化剤)と接触または混合すると、反応する。

3. 強く加熱されると、分解が起こる。

4. アルカリ類および大部分のアミン類と接触すると、自力で反応する。

5. 鋼、ステンレス鋼およびアルミニウムは容器として耐久性がある。

6. 銅および銅化合物は腐食される。

11. 有害性情報 眼に入った場合 吸入した場合

刺激性

急性毒性

1. 高濃度の蒸気は眼を刺激する。

1. 高濃度の蒸気は眼ならびに気道を刺激する。

2. 麻酔作用がある。

3. 肝臓と腎臓の障害ならびに貧血症状が遅れて起こりうる。

4. 眼、鼻および咽頭の粘膜の炎症、眠気、めまい、意識喪失。

ラビット 500 mg open；MILD(皮膚)

ラビット 10 mg/24 H open(皮膚)

ラビット 20 mg；SEVERE(眼)

ラビット 100 µl/24 H；SEVERE(眼)
(RTECS)

吸入毒性	ヒトTCLo：1 0 0 ppm TCLo：4 0 0 ppm TCLo：4 7 5 mg/m ³ TCLo：1, 9 0 0 mg/m ³ ラットLCLo：1, 0 0 0 ppm/8 H マウスLD50：3, 9 5 0 mg/kg ラットLD50：2, 5 2 0 mg/kg ラビットLDLo：4, 6 5 3 mg/kg ラビットLD50：1 3, 5 0 0 mg/kg
経口毒性	
経皮毒性	
12. 環境影響情報 分解性	8 8～9 2 % (9 0 %) (by BOD) 微生物等による分解性が良好と判断される物質。(化審法既存点検)
13. 廃棄上の注意	1. アフタバーナーおよびスクラッパー付きインシナレーターの中で焼却できる。
14. 輸送上の注意	容器の漏れのないことを確かめ落下、転倒、衝突を避ける。
IMDG ICAO/IATA	クラス3 等級III クラス3 等級II PAT3 0 5 Y3 0 5 CA03 0 7 等級III PAT3 0 9 (6 0 L) Y3 0 9 (1 0 L) CA03 1 0 (2 2 0 L)
国連番号/国連分類	UN 1 1 4 8 (ジアセトンアルコール) クラス3 等級II, III
15. 適用法令 化学物質管理促進法(PRTR法) 毒物及び劇物取締法 消防法 バーゼル法 労働安全衛生法 外為法 海洋汚染防止法 船舶安全法 航空法 港則法	該当しない 該当しない 第2条危険物第4類第2石油類水溶性液体(2, 0 0 0 l)(引火点2 1℃以上7 0℃未満のもの) 第2条特定有害廃棄物等(0. 1重量%を超えるもの) 施行令別表第1危険物(引火性の物)(引火点6 5℃未満のもの) 施行令第18条の2〔名称等を通知すべき有害物(MSDS対象物質)〕 輸出令別表第2の35の2項(0. 1重量%を超える廃棄物) 施行令別表第1有害液体物質(D類) 危規則第3条危険物等級3引火性液体類(正3容器等級2, 3) 施行規則第194条危険物引火性液体(G等級2, 3) 施行規則第12条危険物(引火性液体類)
16. その他の情報 引用文献	化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。